

一般質問 市政のここが聞きたい

第3回定例会の一般質問は、9月3日・4日・5日・8日の4日間で行われ、各議員が当面する市政運営について市長の姿勢や考え方を質問しました。主な内容を掲載します。一般質問を含む第3回定例会の本会議の録画映像は、市ホームページのインターネット映像配信でご覧いただけます。会議録は、11月下旬から、市ホームページ（PDF版は11月中旬）または、市立図書館、各コミュニティ図書室、市政情報コーナー（市役所1階）でご覧いただけます。

市内にドッグラン開設を！

かやま 玲子
（市民自治フォーラム）



質問 学校教育の文化的行事における演劇が、昨今減ってきている理由を伺う。

答弁 授業時数が増加した現行の学習指導要領では、どの学校も、限られた時間の中で学校行事の準備の時間確保に苦慮し、工夫を重ねている。教員の働き方改革の影響も一因。

意見 演劇により、お互いの役割の理解、視野の広さ、発想の柔軟さが育まれる。よりよい機会をともに与えるべき。時間確保のため、外部の演劇専門家の活用を提案する。

質問 市内の飼い主の方からドッグランを望む声が出ている。北部の基幹公園に設けることはできないか伺う。

答弁 場所の確保、駐車場の確保、運営への協力、近隣住民の理解という4つの条件に沿って検討していく必要がある、これを踏まえ、設置することは困難であると考えている。

意見 ドッグランは、犬同士の交流や飼い主が集える場所。都内には自治体が管理・運営する所も増えており、ニーズはあると考える。課題を解決し、市内への設置を強く求める。

児童館に準ずる施設の整備を求める

間宮 美季
（市民自治フォーラム）



質問 基幹公園整備によって15年来の懸案課題である北部地域の子育て支援機能の不足を解消するという考えが示されたが、整備構想の段階から子ども家庭部を加えて検討していくべきと考えるが見解を伺う。

答弁 北部地域の公共施設機能の在り方については平成27年に子ども・子育て会議からの答申を受け、公共施設マネジメントの検討の中で整理している。こうした背景がある中で、適宜、子ども家庭部等関係部署との情報共有・意見交換を行ってきた。

質問 市長の認識する市史編さんの必要性・考えを伺う。

市長 本市の歴史を記録し、後世に伝えるという意味で市史編さんは意義あるものと認識しているが、本格的な作業の着手には限られたリソースの中で環境を整える必要がある。厳しい財政状況では多くの課題に優先順位を付けざるを得ず、今後も財政や人員の見直しを注視しつつ、市民に理解いただける形で歴史を後世に伝える取り組みを進めていきたい。

環境美化と健康増進へ総合的対策を

梶井 琢太
（市民議会立憲民主）



質問 デジタル技術で学校教職員の業務を効率化・高度化する校務DXの状況は。

答弁 文科省による自治体別達成状況の市の総合数値は都平均より低い。保護者や児童生徒への各連絡、お便り配信や調査・アンケート等の課題へ、校務用端末のリブレースやシステムのクラウド化を積極活用し対応する。

質問 住宅街の路上喫煙が減らない。市長座談会で複数団体から意見が出たが、分煙対策で駅周辺へ喫煙所の設置も効果的では。

答弁 屋外分煙施設等の整備促進を国も示しており、環境美化や分煙対策の一環で公衆喫煙所の設置等は引き続き調査・研究を進める。

質問 一方で、環境美化の観点から現行条例でポイ捨て禁止区域を学校周辺へ拡大したり、受動喫煙防止や健康増進の観点を入れた新たな条例の策定等、総合的な対策を検討すべき。

答弁 環境美化に加え、健康増進や受動喫煙防止の観点も踏まえ総合的な対策が必要。環境審議会や環境美化推進連絡会で意見を伺いながら庁内連携し調査・研究を進める。

職員の人事評価に相対評価を

佐藤 一郎
（東久留米維新の会）



質問 以前質問した際には、期末評価の結果が真ん中の評価に集中していたと記憶しているが、現在の分布率の状況は。

答弁 管理職はAからEの5段階、一般職はAからDの4段階を絶対評価によって区分しており、どちらも標準的な評価区分をC区分としている。令和6年度は、管理職はC区分が100%、一般職ではB区分が13・9%、C区分が84・8%、D区分が1・3%となっている。

質問 管理職は全員が真ん中のC区分になっていることにもなかなかない。人事評価の目的の一つとして、モチベーションをあげることも大事だと思う。工夫できることはないのか。

副市長 同じ評価区分の中でもそこに至る評価点数には差がついていて、その点数に依じて最上位、上位、中位といった区分がされているため、年度ごとのモチベーションという点ではある程度担保されていると考えている。引き続き、担当部において他団体での活用状況など調査・研究はしていきたい。

北部地域のまちづくりについて。

当麻 一哉
（自民クラブ）



質問 本庁舎改修等について、5つの工事手法を比較し、最適な工事手法を整理したとのことだが、比較の内容と結果について伺う。

答弁 「居抜き工事」「居ながら工事」「一部居ながら工事」「現地建て替え工事」「移転建て替え工事」の5つの工事方法について検討・整理を行った。比較評価の方法等は、本庁舎の位置変更、工事期間中の庁舎機能移転、工事手順の合理性、市民サービスへの影響、簡易試算による概算の工事費、解体工事費、用地費等を項目として評価。一部居ながら工事」が最適な工事手法であると整理。

質問 今後の北部地域のまちづくりに向けて、市の方向性や考え方を伺う。

答弁 新規公園整備と都市計画道路整備とを一体的な考えを持って北部地域の面的整備として取り組みを進めることにより、地域に相乗効果や好循環を生み出すことができ、それらの事業実施による利便性向上や安全性確保等にとまらず、にぎわいや経済活動をもたらすことも期待できるものと考えている。

地域の力で守る未来へ

篠宮 よしのり
（自民クラブ）



質問 南沢の落雷による停電について、市としてどのような対応を行ったのか伺う。

答弁 停電を覚知した後、担当課に確認を行い、蓄電池と扇風機を各施設に持って行った。今後については、各施設所管課とLOGOチャットなどを活用し、少しでも早く情報共有が図られるように努めていきたい。

要望 突発的な災害が発生した際に、市民や施設が混乱なく対応できるよう、情報共有のスピードと精度を一層高めてほしい。

質問 市内中学生のボランティアの取り組み状況について伺う。

答弁 青少年健全育成協議会主催の行事、地域活動でのお祭り、地域清掃、小学生のサポートなどのボランティアを行っている。中学生が地域の一員として自覚を持ち、地域への貢献を意識して取り組むことは、学校と地域との連携を推進する上で重要なことと考える。
要望 教育活動と地域活動が連携し、こどもたちが未来へ希望と力を持って進んでいけるよう、今後も積極的に支援をしてほしい。

DXによりさらなる業務効率化を！

関根 光浩
（公明党）



質問 介護サービス事業者等生産性向上事業の概要について伺う。

答弁 介護現場の事務負担軽減、より質の高い情報連携、サービスの提供につなげるため、市内の介護サービス事業所等へケアプランデータ連携システムの導入促進を図るもの。実施には、都のケアプランデータ連携システム活用促進事業補助金を活用。事業内容は、①介護事業者向けの説明会の開催、②ポータルサイトの立ち上げ、③未導入事業者へのシステム導入の伴走支援、④主要介護ソフトウェアと連携したセミナーの開催などを予定。

質問 業務効率化や市民の利便性から、電話での問い合わせをAIが対応する仕組み・取り組みが重要になると考えるが、市の見解は。

答弁 採択された提案を他の区市町村にも横展開を推進するTokyo区市町村DXawardへ、AI活用による電話対応業務の効率化を掲げたAIの電話応答サービス、いわゆる電話DXの取り組みを提案。採択結果にもよるが、実現に向けた検討を行っている。

誰もが暮らしやすいまちづくりを

阿部 利恵子
（公明党）



質問 令和8年4月から導入される自転車の交通違反の反則金について、改めて注意喚起を広報等で行い、歩行者と自転車の安全な歩道・通行空間の確保が必要と思うが。

答弁 全国交通安全運動での街頭活動や広報・ホームページへの掲載、自転車等駐車場での掲示等、市民へ広く周知を図っていく。

質問 河川沿いの遊歩道のベンチの増設や更新の考え方を伺う。

答弁 新設には都の許可等の課題があるが、高齢者や障害者など誰もが安心して外出を楽しめるよう、既存ベンチの間隔なども踏まえ、設置可能なエリアの検討等をしていきたい。また、既存のベンチは、予算の範囲内で劣化の著しいものから順次修理を行っていく。

質問 全天候型プールでのプール指導が必須と思うが、試行実施に踏み出す見通しは。
答弁 検討委員会を設置し、コスト面の検証や市内事業者へのヒアリング等、検討を行った。まずは、市内の外部プール施設を活用した水泳外部指導を試行実施する考え。